2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画	評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
地域の発展に資する人材養成の拠点	教育活動	学生が自身の成長を実感できる教育の充実を重要目標としつつ、「学修成果の可視化」に取組ながら教育効果を把握し、それを向上させるための教育内容や方法の向上、学修支援体制を整備・拡充させ、学生の付加価値を最大化させる。	・ 学生調査・学生生活実態調査結果 ・ GPA、成績分布、修得単位数 ・ 各種施設の利用度、利用満足度	学修成果の可視化や成績評価の標準化など、さまざまな教育効果の把握	1 アセスメントポリシーを各学部・研究科で定めているか。	教育	経済学部	なし	4	2019年度に策定済みである。	
							経営学部	なし	2		
							人文学部		2		
							法学部	法学部アセスメント・ポリシー	2		
							薬学部	薬学部アセスメントポリシー	2		
							経済学研究科		2		
							経営学研究科	なし	2		
							言語コミュニケーション研究科	言語コミュニケーション研究科アセスメント・ポリシー	2		
							社会学研究科		2		
							法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
							医療薬学研究科	医療薬学研究科アセスメント・チェックリスト	2		
					2 学位授与方針に示す能力を測定する取組みを行っているか。	教育	経済学部	なし	2		
							経営学部		2		
							人文学部		1		各教員に任せてあるため、特に学部として測定することはない。また学科により異なることもある。
							法学部		1		各授業での評価で能力・達成度を測定しているが、学部として取り組んでいるわけではない。
							薬学部	薬学部教務委員会資料	2		
							経済学研究科		2		
							経営学研究科	なし	2		
							言語コミュニケーション研究科	言語コミュニケーション研究科アセスメント・ポリシー	2		
							社会学研究科		2		
							法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
							医療薬学研究科	研究成果報告会実施要領、研究進捗状況報告書	3		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画	評価の視点		部会	担当部局	根拠資料	評定 「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
					3	成績評価基準をDP等の教育諸方針と整合性をもって、策定しているか。	教育	経済学部	なし	2		
								経営学部	なし	2		
								人文学部		3		
								法学部	シラバス	2		
								薬学部		1		成績評価基準はDP等の教育諸方針と整合性をもって、策定していない。
								経済学研究科		2		
								経営学研究科	なし	2		
								言語コミュニケーション研究科	言語コミュニケーション研究科アセスメント・ポリシー	2		
								社会学研究科		2		
								法学研究科	シラバス	2		
								医療薬学研究科	シラバス、シラバスチェック	3		
				学修成果の検証に基づく、教育課程に関する恒常的な点検・改善	1	カリキュラムが学位授与方針に定める能力を養成できているかを検証しているか	教育	経済学部	なし	2		
								経営学部	なし	2		
								人文学部		2		
								法学部	なし	2		
								薬学部	薬学部教務委員会資料	2		
								経済学研究科		2		
								経営学研究科	なし	2		
								言語コミュニケーション研究科	松山大学に対する大学評価（認証評価）結果、松山大学内部質保証の方針	2		
								社会学研究科		2		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画	評価の視点		部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科	シラバス	2		医療薬学研究科Visionに基づくPDCAサイクルの仕組みづくり及び可視化が進行中であり、機能させる必要がある。
					2	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針は整合しているか。	教育	経済学部	なし	2		
								経営学部	なし	2		
								人文学部		4	学位授与方針に沿ったカリキュラムで授業を行っている。	
								法学部	なし	2		
								薬学部		1		教育課程の編成・実施方針と学位授与方針の整合性について確認していない。
								経済学研究科		1		定められたディプロマポリシー・論文評価基準を実現できるようなカリキュラムポリシーの設定はまだ実現できていない
								経営学研究科	なし	2		
								言語コミュニケーション研究科	松山大学に対する大学評価（認証評価）結果、松山大学内部質保証の方針	2		
								社会学研究科		2		
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科	シラバス	2		医療薬学研究科Visionに基づくPDCAサイクルの仕組みづくり及び可視化が進行中であり、機能させる必要がある。
					3	カリキュラムの検証は、学習成果に基づく客観的なデータを用いて行っているか	教育	経済学部	なし	2		
								経営学部	なし	2		
								人文学部		3		
								法学部	法学検定試験	2		
								薬学部	薬学部教務委員会資料	2		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画	評価の視点		部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
								経済学研究科		1		カリキュラム検証は行っていない。また、実施計画もたっていない。
								経営学研究科	なし	2		
								言語コミュニケーション研究科	松山大学に対する大学評価(認証評価)結果、松山大学内部質保証の方針	1		院生数が少ないため、客観的データを十分に収集するのが困難である。
								社会学研究科	授業評価アンケート	2		
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科	授業評価アンケート	2		医療薬学研究科Visionに基づくPDCAサイクルの仕組みづくり及び可視化が進行中であり、機能させる必要がある。
					4	教育課程全体の改善・向上に資するPDCAサイクルに基づく、自己点検・評価の仕組みは適切に機能しているか	教育	経済学部	なし	2		
								経営学部	なし	2		
								人文学部		4	学科単位で自己点検・評価を実施し、その結果を教授会で報告している。	
								法学部	なし	2		
								薬学部	薬学部Vision	2		
								経済学研究科		1		大学院研究科委員会内での自己点検は機能していない。
								経営学研究科	なし	2		
								言語コミュニケーション研究科	松山大学に対する大学評価(認証評価)結果、松山大学内部質保証の方針	2		
								社会学研究科		2		
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科	部局自己点検・評価報告書、改善行動計画書	2		医療薬学研究科Visionに基づくPDCAサイクルの仕組みづくり及び可視化が進行中であり、機能させる必要がある。

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画		評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
								教学推進課	松山大学内部質保証の方針 松山大学内部質保証システム概念図 教学推進室概念図 松山大学自己点検・評価規程 松山大学教学推進室規程	2		
				主体的な学習をうながし、学修意欲を刺激するための仕組みづくり	1	全学的な教養教育、初年次教育、キャリア教育の充実化に取り組んでいるか	教育	経済学部	なし	4	初年次教育としての一般基礎演習に社会人セミナーを組み込み実施している。	
								経営学部	なし	3		
								人文学部		4	１年次では導入講義やEICや英語基礎演習Ⅰ・Ⅱで初年次教育を実施している。また３年生に対しては外部講師によるキャリア教育を行っている。	
								法学部	なし	2		
								薬学部	薬学部シラバス	2		
								経済学研究科		1		大学院のプログラムとの整合性が不明であり、取り組んでいない。
								経営学研究科	なし	3		
								言語コミュニケーション研究科	シラバス	2		
								社会学研究科		1		全研究科共通の教養教育・初年教育、キャリア教育のしくみ自体が組まれていない。まず、そのような全研究科共通のしくみを創設するかどうかを、大学院教学委員会等で議論することから始めなければならない。
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科	がんプロ公開講座チラシ	2		初年次教育などは学部教育と性質が異なるところであるが、キャリア教育につながる「がんプロ公開講座」は実施している。
								教務委員会・教務課	地域中小企業論、インターンシップ活用I、II、インターンシップ研修A、Bのシラバス	2		
					2	ICTを活用した教育を実施できているか	教育	経済学部	なし	4	統計系統科目を中心に実施している。	

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画		評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評　定 「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
								経営学部	なし	3		
								人文学部		4	特に英語英文学科ではCALLを使って、学生の自学自習に取り組ませている。また状況に合わせて、オンラインを使用している。	
								法学部	なし	2		
								薬学部	薬学部シラバス	2		
								経済学研究科		2		
								経営学研究科	なし	3		
								言語コミュニケーション研究科	シラバス	3		
								社会学研究科		2		
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科		1		講義は少人数で行うことが多く、また要となる研究は実験を伴うことが主であり、ICTを活用した教育の具体化については検討しかねる。
								教務委員会・教務課		2		
					3	学習者の能動的な学びを重視するアクティブラーニングや反転授業、PBL等の教育方法を導入できているか	教育	経済学部	なし	4	地域経済系統科目を中心に導入している。	
								経営学部		3		
								人文学部		4	特に英語英文学科ではCALLを使って、学生の自学自習に取り組ませている。	
								法学部	*なし*	2		
								薬学部	薬学部シラバス	3		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画		評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定 「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
								経済学研究科		1		大学院の各特講・演習は個別の方法で取り組まれており、そもそも院生の数が少ないため、組織だった導入は不可能である。
								経営学研究科	なし	3		
								言語コミュニケーション研究科	シラバス	3		
								社会学研究科		2		
								法学研究科		1		これまでの在学生・修了生が少ないため根拠資料・検討資料が不足しているため十分に検討できていない。
								医療薬学研究科	シラバス	3		
								教務委員会・教務課		2		
		安全安心な学生生活を保証するため、学生生活の場としての大学の役割を自覚し、学修環境及び生活環境の支援体制を整備し、松山大学生としての自覚と誇りを醸成する。	・学生調査・学生生活実態調査結果 ・留年・休学・退学率	学修及び生活環境のサポート体制の充実と正課外活動への支援	1	正課外活動への支援策は十分に行われているか	教育支援	学生委員会・学生課	松山大学課外活動規程 学校法人松山大学課外活動費支給規程 学校法人松山大学課外活動補助金支給規程 課外活動における松山大学温山記念会館利用に関する基準 学校法人松山大学特別指導者手当支給規程 学校法人松山大学課外活動学外指導者の指導料支給に関する基準 学業及び課外活動成績優秀者表彰（学長賞）規程 松山大学スポーツスカラシップ制度特別奨学金規程 学校法人松山大学資格・能力取得奨励金規程	3		
					2	学生が安心かつ充実した学生生活を送ることができるような体制を整備しているか	教育支援	学生委員会・学生課	松山大学学生委員会規程 松山大学学生の公欠に関する取り扱い規則	3		
								学生支援室	学校法人松山大学学生支援室規程 学校法人松山大学障害学生等支援会議の組織及び運営に関する規程 学校法人松山大学障害学生等の支援に関する規程 学校法人松山大学障害学生等支援活動制度の利用規程 学校法人松山大学障害学生等支援活動制度の運用及び管理に関する申し合わせ 学校法人松山大学カウンセリングルーム規程	3		
				学生生活の場としてのキャンパス内の整備	1	キャンパス整備計画を適切に策定しているか	教育支援	学生課		2		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画	評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定 「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
	学生支援				2 学生の学修環境は適切に整備されているか。	教育支援	学生委員会・学生課	松山大学温山記念会館利用に関する基準 学校法人松山大学温山記念会館管理及び利用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設メインアリーナ使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設サブアリーナ使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設プール使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設彰廉館使用規程 松山大学御幸キャンパステニスコート使用規程 松山大学第１体育館使用規程	3		
							図書館運営委員会・図書館事務室	なし	2		
					3 正課外活動などの授業外の学修環境及び生活環境は適切に整備されているか	教育支援	学生委員会・学生課	松山大学学生委員会規程 松山大学学生談話室使用規程 学校法人松山大学カルフール管理規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設メインアリーナ使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設サブアリーナ使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設音楽ホール使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設トレーニング室使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設プール使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設弓道場使用規程 松山大学御幸キャンパス総合運動施設彰廉館使用規程 松山大学久万ノ台グラウンド陸上競技場使用規程 松山大学久万ノ台グラウンド野球場使用規程 松山大学ボート艇庫使用規程 松山大学御幸キャンパスクラブアクティビティエリア(100周年記念施設)使用規程 松山大学御幸キャンパスグラウンド使用規程 松山大学御幸キャンパステニスコート使用規程 松山大学部室使用規程	3		
							図書館運営委員会・図書館事務室	なし	2		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画		評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
				社会環境の変化や学生の実態に応じた奨学金制度の見直し	1	安心して修学を行うことができるための適切な経済支援が行われているか	教育支援	学生委員会・学生課	松山大学奨学金規程 松山大学特別奨学金規程 松山大学温山会奨学金規程 松山大学入学試験スカラシップ規程 松山大学入学試験成績優秀者スカラシップ奨学金規程 松山大学入学試験薬学部成績優秀者スカラシップ奨学金規程 松山大学入学試験薬学部特別指定校スカラシップ奨学金規程 松山大学成績優秀者スカラシップ制度特別奨学金規程 松山大学薬学部成績優秀者スカラシップ制度特別奨学金規程 松山大学薬学部提携特別教育ローン利子給付奨学金規程 松山大学スポーツスカラシップ制度特別奨学金規程 学校法人松山大学学費延納規程 松山大学日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者選考規程	3		
キャリア支援・教育	キャリア教育・支援を継続的かつ計画的に行い長期にわたって社会で活躍できる人材を養成する。また、自らのキャリアをマネージメントできる人材を育成するため、教育課程と連携しつつ、学生の意識を改革するための体制を整備する。さらに低学年からキャリア教育を充実させることにより、就職活動における満足度の向上や就職先企業とのミスマッチの低減を目指す。	・就職率（就職者/就職希望者、就職者/卒業者） ・インターンシップ等の参加者数 ・就職活動満足度等の学生調査結果 ・就職ガイダンス・セミナー・説明会等の参加者数	学生調査、卒業生調査、企業調査等を踏まえた体系的で学生のステージに応じたキャリア教育支援体制の構築 雇用環境に関する適切な情報の把握と学生へのよりよい提供方法の検討	1	学生が就職活動に積極的に取り組む環境及び情報を提供しているか。	教育支援	キャリアセンター運営委員会・キャリアセンター課	・ガイダンス時学生アンケート ・学内合同企業セミナー時企業アンケート ・就職・キャリア支援一覧表 ・キャリアセンター特設サイト（ホームページ内） ・キャリアセンター就職サイト一覧	2		
			キャリア教育支援を支える人的・物的資源の強化	1	学生の就職等進路に関する相談・助言体制を整備し、適切な支援を行っているか。	教育支援	キャリアセンター運営委員会・キャリアセンター課	・学生個人面談業務委託契約書（キャリアコンサルタント派遣）	3		
			キャリア教育プログラム及びインターンシップ・プログラムの開発・整備	1	社会的・職業的自立を図る取組みを実施しているか。	教育支援	キャリアセンター運営委員会・キャリアセンター課		1		【未実施となっている理由】 キャリアセンター運営委員会及びキャリアセンター課では、キャリア教育プログラムの開発・整備について、現段階では検討していない為。また、検討することは考えておりません。
								教務委員会・教務課		2		
入試・広報	アドミッション・ポリシーに基づき、入試制度や入試広報のあり方について戦略的に分析し、志願者数、入学者数を安定化させる。また、大学広報の戦略的な方針を確立し、松山大学ブランド・イメージをより強固なものとする。	・志願者数・受験者数・入学者数 ・オープンキャンパス等の参加者数 ・高大連携事業等の数、参加者数 ・大学 HP 等のアクセス数	社会情勢に応じた入試制度の見直し	1	入試改革に向けた準備は適切に進められているか。	教育	入試委員会・入学広報課		1		2025(令和7)年度の新課程入試に向けて、2022年度末に、「新課程入試における出題科目検討会議」を立ち上げ、現在検討中であるため。
				2	学生の受け入れ方針に沿った学生の受入が行われているか検証するための取組みを行い、入学者選抜の改善に役立てているか。	教育	入試委員会・入学広報課		1		2022年度の入試委員会で未着手であったため、2023年度は検討を進めていきたい。
			高大連携事業等を通した高校生との接点を拡充する取組の強化	1	高大連携を通じて高校との関係は良好なものになっているか	教育	入試委員会・入学広報課	2022年度 出張講義一覧 2021年度 出張講義一覧	3		
			地域やエリアに対応した効果的・効率的な広報戦略の検討	1	学生を確保するため、効果的な入試広報活動や学生確保の取組み等を行っているか。	教育		2023年度 入学試験結果 2022年度 入学試験結果 2022年度 オープンキャンパス参加者集計			

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画		評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
				SNS 等ソーシャルメディアの活用	2	大学ブランド向上のための取組み等を行っているか		入試委員会・入学広報課	2021年度 オープンキャンパス参加者集計 2022年度 松山大学公式ウェブサイト／入試情報サイト／WEBオープンキャンパス閲覧ページ数 2021年度 松山大学公式ウェブサイト／入試情報サイト／WEBオープンキャンパス閲覧ページ数	2		
	国際化	日本全体のグローバル化の流れに対応しながらも、地域社会・地域経済の活性化に貢献する「グローカルな人材」を養成することに注力する。そのために実践的かつ実用的な語学教育の充実と海外語学留学機会の提供に留まらない新しい異文化交流プログラムの実施体制の構築を目指す。	・異文化交流プログラム等の開講数 ・異文化交流イベント等の開催数 ・留学者数、プログラム等、イベント等への参加者数	外国語によるコミュニケーション能力を高めることを目的とした異文化交流プログラム等の実践的な語学修得の機会の提供	1	学生の留学や海外体験を促進するため、周知を適切に行っているか。	教育支援	国際センター運営委員会・国際センター課	①学内ポータルへの掲出 ②学内に立て看板の設置 ③学内掲示板(3か所)へのポスター掲出 ④来課学生へのチラシ配布案内 ⑤言語別履修者へのメール告知 ⑥語学関連教員への告知依頼 ⑦国際センターのSNSで告知拡散(Twitter、Instagram、LINE、YouTube、facebook等)	3		
				外国語運用能力の向上とは異なる目的を持った新しい異文化交流プログラムの実施 他文化を尊重しつつ、自文化をより知るための機会の提供	1	異文化交流プログラムの企画を行い積極的な参加を促しているか	教育支援	国際センター運営委員会・国際センター課	①国際交流バスツアー・1泊2日＠広島の開催 (外国人留学生全員参加・12月) ②海外探訪byおんらいん (上海、セネガル、カンボジア) ③オンライン海外体験学習＠インドネシア・フィリピン (SDGS関連学習) ④オンライン国際協働学習 （COIL: Collaborative Online International Learning）＠イギリス ⑤オンライン英会話「室内留学」＠フィリピン (各3か月・夏季と冬季)	3		
地域の知的コミュニティの拠点	社会連携	地域社会の課題に目を向け、それらの課題と研究活動や教育活動とを結びつけ、研究、教育、社会貢献の連環を強める。また、研究成果を社会に還元するために、地方公共団体や地域企業等との連携を一層充実させる。	・ 連携協定先との連携事業数 ・ 連携事業等への参加学生数 ・ 公開講座等の開講数・受講者数	連携協定先との取組の強化	1	連携協定先との取組みは活発に行われているか	社会連携	社会連携室運営委員会・社会連携課		2		
					2	新たな連携協定の締結を行ったか	社会連携	社会連携室運営委員会・社会連携課	・松山大学オフィシャルホームページ（社会連携・生涯学習事業）連携協定先一覧）	3		
				学生教育に資する社会連携事業の推進	1	学生の成長に資する社会連携事業を推進できているか	社会連携	社会連携室運営委員会・社会連携課	・松山大学オフィシャルホームページ（社会連携・生涯学習事業〉社会連携事業〉学生による社会連携活動、社会人基礎力育成事業〉プロジェクト概要） ・映像制作プロジェクト「撮り旅」による情報教育（情報処理学会第85回全国大会：檀裕也） ・「産官学連携に基づく協働プロジェクト」成果報告書 ・社会人基礎力（事前、事後）評価シート	4	自治体や企業等から依頼のある社会連携(ボランティア)活動に意欲ある学生を募り、それらの活動に学生が参画することで、本学が取り組む社会連携活動の拡大を図る「学生による社会連携活動」に359名（49件）が参加した。中でも、「旅と学びの協議会」を通じて連携している株式会社AOI Pro.が立ち上げた映像制作プロジェクト「地域の魅力を映像にしよう!-撮り旅-」に参加し、2022 年7 月から9 月にかけて愛媛県の今治、大洲・内子、松山、宇和島、久万高原・砥部等の愛媛県各地の魅力を映像によって表現する映像制作の実践的な学生活動を実施した。企画・撮影・編集の工程を経て完成した映像作品は、成果発表会にて公開したほか、インターネットを通じて公開している。	
					2	連携事業の成果や取組み内容を地域へ適切に発信しているか	社会連携	社会連携室運営委員会・社会連携課	・松山大学オフィシャルホームページ（社会連携・生涯学習事業〉社会連携事業〉学生による社会連携活動、社会人基礎力育成事業〉プロジェクト概要） ・松山大学社会連携課twitter ・プレスリリース一覧（15件）	3		
				本大学の知的資源を活かしたリカレント教育等の推進	1	公開講座は適切に実施されているか	社会連携	社会連携室運営委員会・社会連携課	・松山大学コミュニティ・カレッジチラシ ・松山大学カルスポ公開講座チラシ	3		

2022年度全学自己点検・評価報告書（学校法人松山大学中期プラン）

評定： **「4」非常に高い成果が上がっている、「3」成果が上がっている**
「2」取り組んでいるものの成果が十分ではない、「1」未実施、検討中

中期目標	大項目	目標	評価項目	実施計画	評価の視点	部会	担当部局	根拠資料	評定「1」～「4」	評定「4」の場合 特筆すべき事項	評定「1」の場合 未実施、検討中となっている理由
地域の発展に寄与する研究の拠点	研究活動	教員の研究活動を活性化し、それぞれの研究成果が地域の発展に還元されるよう、各教員の研究分野の学外への発信等を進めるとともに、研究支援体制の整備・強化を行う。	・発表論文数と学会発表件数等 ・外部競争的資金への申請件数・採択数 ・企業等との連携による受託研究、共同研究等の取組数 ・大学 HP 等からの教員研究情報の発信状況	外部競争的資金の獲得に向けた環境整備と支援体制の強化	1 外部資金の獲得に積極的に取り組んでいるか	研究	総合研究所運営委員会・総合研究所事務室	科研費申請・採択件数，厚労科研等一覧，受託研究一覧	3		
				地域における他大学や企業等との連携の促進による学際的な研究の活性化	1 共同研究が活発に行うことができるような体制の整備が行われているか	研究	総合研究所運営委員会・総合研究所事務室	厚労科研等一覧，受託研究一覧	3		
					2 研究の促進は図られたか	研究	総合研究所運営委員会・総合研究所事務室		3		
				研究成果を社会に広く還元させるための情報公開の推進	1 情報発信は適切に行われているか	研究	総合研究所運営委員会・総合研究所事務室		3		
							社会連携室運営委員会・社会連携課		1		教員の研究成果の情報発信は総合研究所が実施しているため、社会連携課では行っていない。
				学内の特定課題研究助成等の再構築等による研究支援体制の見直し	1 研究支援体制の見直しを行う環境ができているか	研究	総合研究所運営委員会・総合研究所事務室		3		